

## 2018 春季生活闘争 ふくしま労働シンポジウム

# 過去最高益を、働く者が生み出した生産性に適正な分配が不可欠

## ～クラシノコアゲ応援団！格差是正の取り組みが重要～



挨拶をする連合福島今野 泰 会長

連合福島は、この程2月1日(木)13時30分～「2018春季生活闘争ふくしま労働シンポジウム」を開催した。冒頭、今野 泰連合福島会長は、「いよいよ本格交渉の時期を迎える。官製春闘、政府が経済界に賃金アップを求め5年目となるが、本来賃金は労使交渉で決定すべき性格のものであり、企業の過去最高益が、働く者が生み出した生産性へどう応え適正な分配をはかれるかどうかにある。直近の実態は、社会保険料の負担増などにより、可処分所得はわずかしか伸びていない。連合福島は、①経済の自律的成長、②包摂的な社会の構築、③人的投資の促進、④ディーセントの実現を目指して総力を挙げる。もう一つは、クラシノコアゲ応援団！格差是正の取り組みが重要である。様々な指標が、経済大国日本の貧富の差が拡大していることを示している。生活が成り立たず社会からこぼれようとしている人、放置されようとする人に対し、フォーカスし、光を当てていく社会的役割が今、労働組合に求められている。今後、社会の安定を進める上で、共有をしながら、底上げ・底支えの視点での、取り組みを強化しなければならない。組合員であるなしに拘らずすべての働くものの春闘となるよう、そして信頼と共感が深まるようともにがんばろう！」と声高に挨拶した。



日本銀行福島支店  
菅野浩之 支店長



フリーアナウンサー  
大和田 新 氏

そして、第一部講演では、日本銀行福島支店・菅野浩之支店長より「福島県経済の動向と課題」と題して丁寧な説明をいただいた。第二部の講演では、「伝えることの大切さ・伝えることの素晴らしさ」と題し、フリーアナウンサーの大和田 新氏より永年にわたり障がい者や女性・高齢者雇用に取り組む企業紹介とその内容について、先進的事例を紹介いただいた。いずれの講演も、聴講者の心に響く内容で、今後の取り組みに活せる有意義な場となった。

このシンポジウムが、労働組合だけの場に留まらず、多くの労働行政や経営者団体、さらに各級議員の皆様にも参加を得ましたことは、光栄であり励みありますし、感謝申し上げます。

このシンポジウムが、労働組合だけの場に留まらず、多くの労働行政や経営者団体、さらに各級議員の皆様にも参加を得ましたことは、光栄であり励みありますし、感謝申し上げます。



会場は各層からの約200名の参加者で埋まる